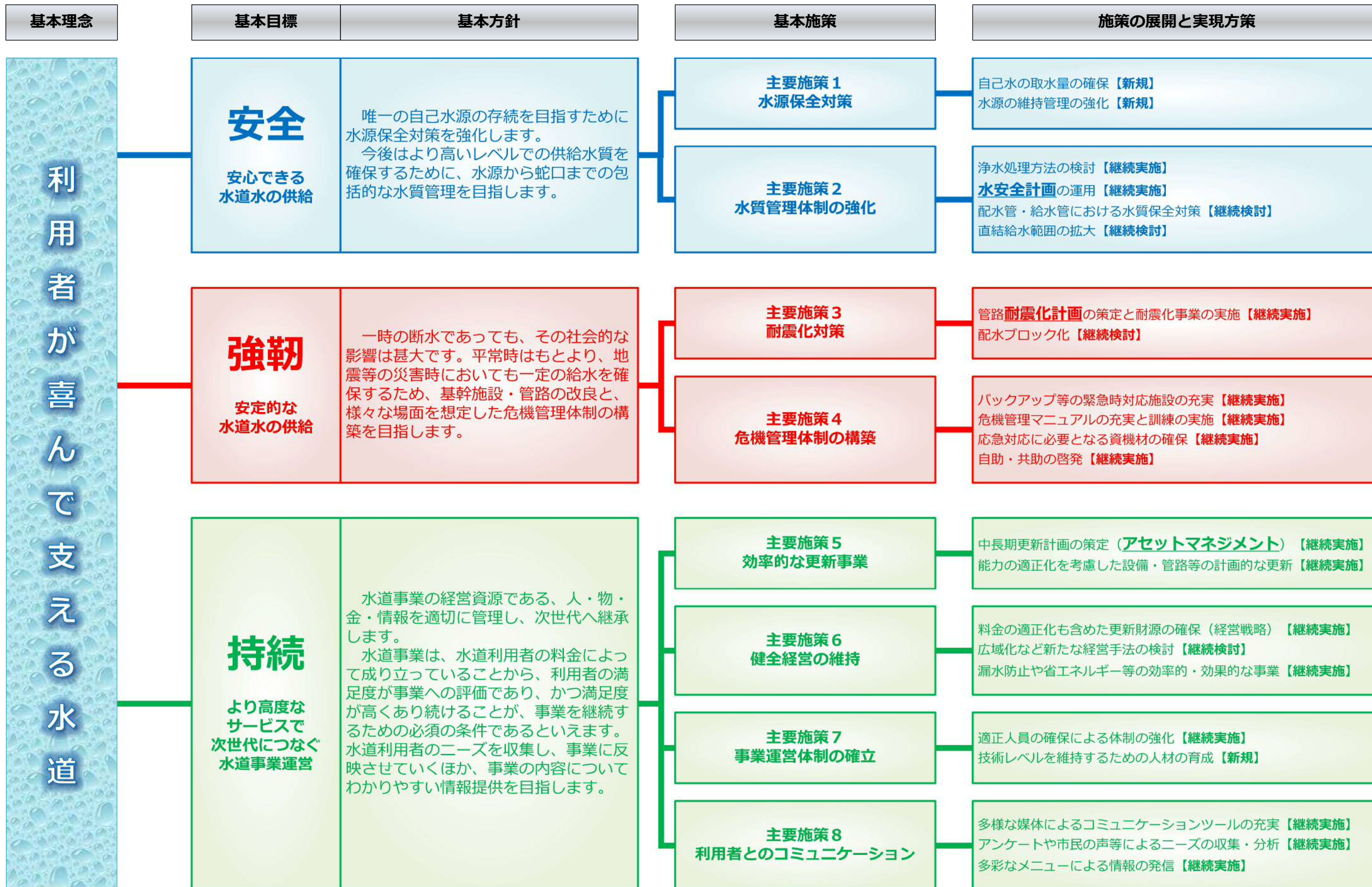


# 西尾市水道ビジョン 概要版

西尾市水道事業の課題として、**安全の視点**から「自己水の維持」「水質に関するリスク管理」、**強靱の視点**から「耐震化事業の推進」「危機管理の強化」、**持続の視点**から「水需要の減少に伴う給水収益の減少」「施設の長寿命化」「将来における財政状況の把握」「事業運営体制の強化」「水道利用者ニーズの把握」などがあげられます。今後、これらの課題を解消し、西尾市水道事業が目指す未来（理念）を達成するため、厚生労働省の新水道ビジョンの考え方に従って、基本施策及び実現方策を設定しました。





## 安全～安心できる水道水の供給～

### 主要施策1 水源保全対策

#### ◆自己水の取水量の確保

水源全体に占める県水の割合（県水依存率）の低減を目指します。

#### ◆水源の維持管理の強化

定期的な点検の実施により井戸の状態を把握し、必要に応じて適切な修繕や更新（掘替え）を行うことにより能力（揚水量）の維持を図ります。

志貴野水源送水場



取水井（深井戸）



### 主要施策2 水質管理体制の強化

#### ◆浄水処理方法の検討

原水水質の監視結果の分析などに基づき、必要に応じてマンガン処理プロセスの導入を検討・実施します。

#### ◆水安全計画の運用

水源から蛇口までの包括的な水質管理を行います。

#### ◆配水管・給水管における水質保全対策

必要に応じて水質自動監視装置の導入を検討します。さらに、継続的に洗管を実施することで管路内での水質劣化要因を削減することを目指します。

#### ◆直結給水範囲の拡大

給水サービスの向上の一環として、受水槽方式の見直しに寄与します。

## 強靱～安定的な水道水の供給～

### 主要施策3 耐震化対策

#### ◆管路の耐震化計画の策定と耐震化事業の実施

管路の耐震化を老朽管更新事業とあわせて効率的に実施します。

#### ◆配水ブロック化の検討

効率的な応急復旧活動が可能となる配水ブロックシステムの導入を検討します。

資機材の備蓄



### 主要施策4 危機管理体制の構築

#### ◆バックアップ等の緊急時対応施設の充実

停電対策としての自家発電設備設置等を行います。

#### ◆危機管理マニュアルの充実と訓練の実施

事業継続計画を策定するとともに、それに基づいた応急給水及び応急復旧活動に必要な資源の確保に努めます。

また、関係団体などと連携した訓練を計画的に実施します。

#### ◆応急対応に必要な資機材の確保

独自での調達、民間企業との協定締結などの方法により、資機材の確保に努めます。

#### ◆自助・共助の啓発

災害時の飲料水備蓄（自助）については、広報誌などを活用した啓発を継続して実施します。

また、自主防災会を通じた共助での取り組み（合同訓練の実施、飲料水などの共同備蓄など）についても啓発を検討します。

合同訓練



## 持続～より高度なサービスで次世代につなぐ水道事業運営～

### 主要施策5 効率的な更新事業

#### ◆中長期的な更新計画の策定（アセットマネジメント）

延命化を目指した維持管理の強化に取り組みます。

また、長寿命管路を積極的に採用し、効果的な更新を実施します。

#### ◆能力の適正化を考慮した設備・管路等の計画的な更新

更新時にあわせて適正な能力（ダウンサイジング）を検討し、効率的な更新を実施します。

### 主要施策6 健全経営の維持

#### ◆料金の適正化も含めた更新財源の確保（経営戦略）

アセットマネジメントと連動した経営戦略に基づき、交付金（補助金）、企業債、内部留保資金などの最適な組み合わせにより財源を確保するとともに、必要に応じて水道料金の最適化（料金体系も含めて）も検討します。

#### ◆広域化など新たな経営手法の検討

広域連携や委託範囲の拡大などの継続的な検討を行います。

#### ◆効率的・効果的な事業実施

漏水防止による水資源の有効活用、省エネルギー設備の導入、建設廃棄物の3R推進などの環境対策を継続的に取り組みます。

### 主要施策7 事業経営体制の確立

#### ◆体制の強化

更新事業、維持管理業務のための職員確保に努めるとともに、PPP（公民連携）などの新たな取り組みについても検討を行います。

#### ◆人材の育成

水道特有の技術を次世代に継承し、職員の育成による技術レベルの確保のために教育・研修計画や支援計画を作成し、実施します。

研修の様子



### 主要施策8 利用者とのコミュニケーション

#### ◆コミュニケーションツールの充実

市民の声や問い合わせ、市民アンケート調査は継続的に実施します。また、インターネットを活用した双方向のコミュニケーションツールなど、多様な媒体の活用についても検討します。

#### ◆ニーズの収集・分析

利用者のニーズを適切に把握し、適宜、実現方策等に反映していきます。

#### ◆情報の発信

ホームページコンテンツの充実、パンフレットの作成などにより、ニーズに合わせた情報を発信し、水道利用者との連携に取り組みます。

## 経営戦略

経営戦略における投資計画は、将来にわたって水道事業を安全、強靱に持続していくために必要となる施設、設備及び管路に関する投資の計画で、財政計画は、投資計画に基づく支出を賄うための財源確保の計画です。

### ① 目標

【投資計画】

目標1 重要管路などの基幹施設の耐震化事業の完了

目標2 老朽管更新事業の推進

【財政計画】

目標1 現行料金の維持

目標2 企業債残高の適正化

### ② 財政収支ギャップの解消に向けた取り組み

◆ 投資計画の最適化

◆ 適正な料金改定

◆ 長期的な財政収支見通しの検討